

「嚥下通信」 Vol.10

運動麻痺や認知症などで食事を自分で食べられない人、また食事に問題がある人に対して**食事介助**が必要となります。安全に食事ができるよう、介助するうえで注意すべき点をご紹介します。

ポイント① リラックスした姿勢・状態で

- ★**あごを引いた姿勢**にする
- ★利き手で介助し、正面から食べ物を取り込めるようにする
- ★介助者は必ず座り目線が合うようにする



握りこぶし1つぶんが適切！

ポイント② 食べ物を認識してもらう

- ★はじめに食事メニューを説明する
- ★いきなり口へ運ばない **×**
⇒食べ物を目の高さに持っていき、目で見確認してもらう **○**

次はお肉ですよ



ポイント③ 飲み込みを確認しながら

- ★急がせず、一定のペースで介助する
- ★毎回一口の量が同じになるよう調整する
- ★**一口ごとに飲み込みを確認!**



一口の量はティースプーン一杯が適切！